

今回は、社会見学で来館した四日市市の小学4年生のみなさんが、「海ごみクイズ」に挑戦した様子をお伝えします。この講座では、海に落ちているプラスチックごみの問題についてクイズ形式で学び、こうした問題を起こさないために、日頃どんなことができるのか、考えます。

海ごみクイズ

海には、たくさんのプラスチックごみが落ちてます。プラスチックは、土に還らないので、100年以上先まで残ります。また、5mm以下のとても小さなプラスチックの破片はマイクロプラスチックと呼ばれ、海の生物がえさと間違えて食べてしまい、これを食べた魚を人間が食べることによって、人間の身体への影響も心配されているのです。この話を聞いたみなさんは、「海でそんなことがあるなんて」と驚いた様子でした。



ごみになったプラスチックはどうなっていくのかな？

私たちの生活にプラスチック製品は根付いています。身の回りにどんなプラスチック製品があるのか質問すると、みなさん「お弁当箱」や「下敷き」などいろいろと答えてくれました。海洋プラスチックの問題は、どこか遠くで起きているのではなく、私たちの生活につながっています。海のプラスチックごみを自分事として捉え、日頃から環境に目を向けてもらうきっかけになればと思います。



なぜ海のイセエビが貝殻を悪くしているのでしょうか？

最後に展示ホールで、海ごみの問題を伝えるDVD「美しい伊勢湾を取り戻そう!」を見て、クイズで学習した内容を深めました。

元気よく、クイズの問題に答えてくれました。



おすすめポイント クイズ形式で海ごみの問題を楽しく学べます。



体験学習について 「水質チェック」では、生活排水が川や海にどのような影響を与えているのか学んだあと、自分に出来ることを考えて、たくさん発表してくれました。

海ごみクイズ

対象 / 小学3年生以上

人数 10~40名程度 **所要時間** 30~45分

- 内容**
- 海にはたくさんのゴミが落ちていて、海の生物はプラスチックをエサと間違えて食べてしまっていることをお話します。
 - プラスチックは100年後も残り、粉々になったプラスチックが世界中の海に漂い散らばることを、三択のクイズで学びます。
 - 私たちの身の回りにはプラスチックがたくさんあることに気づき、こうした問題と私たちが無関係ではないことを知って、これからの自分の行動を考えます。



社会見学利用について

- 対象** 小学生~高校生
- 人数** 100名程度まで
※施設見学のみ場合は40名程度まで
※人数が多い場合はご相談ください
- 料金** 無料
- 申込** 原則1か月前までにお申し込みください。
※10月~11月は社会見学の多い時期です。早めのお申し込みをお勧めします。

内容

体験学習 + 施設見学(ワークシート) + 昼食OK

※お部屋で食事をすることができます

環境学習プログラムについて、詳しくはこちらをご覧ください

